

小清水町の除雪、排雪について

問① 森 浩議員



1点目に、市街地国道391号の歩道ロードヒーティングにおいて経年劣化等により融雪されない区間の今後の対応と、雪山により見通しが悪く危険な交差点を優先して除排雪するなどの対策について伺います。

答① 久保 弘志町長

開発網走道路事務所より、特殊なヒートパイプ方式であることから部分的な修繕は困難でロードヒーティングの仕組みの見直しによる更新が必要なこと。加えて、本町より無電柱化を要望している区間もあることから一体的な整備を検討していきたいと説明を受けて

おりますので、当面はご不便をおかけすることにご理解をお願いいたします。

また、歩道や交差点の除雪については、こまめな除雪と必要な排雪の対応を要請しており、町としても危険箇所が生じないよう適宜確認のうえ、排雪を要請していきます。

問② 森 浩議員

歩道等については開発がこまめに行うということですが、すぐに行くことは難しく、町民や商店街の方などお店の前を受け持つ方の対応方法について、町としての考えをお聞きます。



答② 久保 弘志町長

歩道を含め国道の除排雪は国の所管であるため、危険箇所があれば随時しっかりと対応されるよう要請をしていきます。

商店街等の除雪の対応については商工会を通じて要望をお聞きするなどして、確認事項があれば開発含めて調整をし、要望に對し可能なものについては対応してもらおうよう要請していきます。

問③ 森 浩議員

2点目に、少子高齢化の進行により、自宅周辺の除雪が困難となってきたり、その対応として社会福祉協議会で行っている共助による除雪・排雪サービスがありますが、希望者の増加に對し協力者は減少している現状にあります。すべてを公助で賄うのは困難と考えますが、町長公約にもある「住んで良かったまち」となる雪対策をお聞きます。

答③ 久保 弘志町長

高齢者の日常を支える生活支援は、公助だけで賄うことは難しく、災害発生時には、なにより共助が重要になってくることから、その支え手は身近な地域の人であり、自治会であると考えています。自主防災組織づくりをお願いしていますので、その活動を後押しして雪対策に限らず、日常支援につながる仕組みづくりを自治会のみならずのご意見を聞きながら進めていく考えです。

質問は要約されています

議会だよりは、紙面の都合により、質問・答弁の内容を要約しています。詳細については、議会事務局へお問い合わせください。

問④ 森 浩議員

自治会も限られた予算の中で対応しなければならず、昨年からコロナの影響で使っていない交付金を雪対策に使うような施策は取れないでしょうか。

答④ 久保 弘志町長

自治会によって取り扱いに差があること、対応ができることとできないところが生じるなど、公平性を欠くことはできないと考えます。地域の除雪対応は以前から様々な議論があったと認識していますが、そこは災害時の助け合いにつながるよう自治会の共助の中で行わなければならないと思っています。しかしながら高齢化などで対応が難しい自治会が多くなれば、自治会の再編なども含めた議論になるかと思えますので、各自治会と意見交換をしながら、5年10年先を見据えた検討をしていきたいと考えますのでご理解願います。

委員会レポート

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会は、所管事務調査として、11月30日に委員会を開催し、次の項目について調査を行いました。

一般廃棄物最終処分場調整池保護シート取替工事について

工事が完了したことを受け、工事概要や今回の破損の原因などについて資料を基に町民生活課より説明を受けました。

葬斎場改修工事について

改修工事が完了した葬斎場の工事概要の説明を町民生活課より受け、現地調査を行い、適正に管理されていることを確認しました。



経済厚生常任委員会

経済厚生常任委員会は、所管事務調査として12月13日に委員会を開催し、次の事項について調査を行いました。

アグリハートセンター（農業振興拠点施設）設置について

現在建設中のアグリハートセンターについて、設置条例の概要や指定管理料算定の考え方などを産業課から説明を受け、工事の進捗状況の確認を現地で行いました。令和4年4月の開設に向け、順調に工事が進んでいることを確認しました。

